

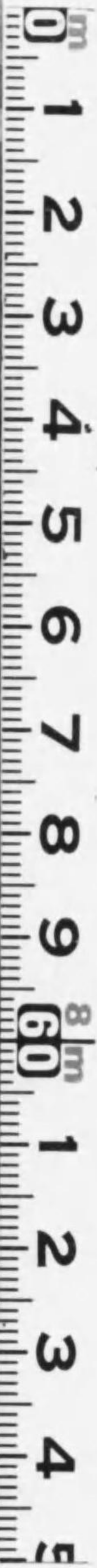
特255

630

支路英の近最



輯九第座講家民日朝



始



特 255
630



朝日民衆講座第九輯

昭和三年五月三十日第二十五回民衆講座として行
はれた「最近外國事情講演會」に於ける松井英國
大使、秋田雨菴、有田アジア局長の諸氏講演速記

最近の英露支

朝日新聞社發行



目次

- 一、ソウエト・ロシアの藝術概観……………秋田 雨雀…一
- 一、統一和平の支那……………外務省
アジア局長 有田 八郎…二五
- 一、イギリスの土産話……………英國大使 松井慶四郎…卅

はしき

秋田氏のロシアの話、有田氏の支那談、松井男のイギリス土産を一冊に収めたのは、別に意味がないにしても、おの／＼最近の歸朝者であり、最近の事情を語るところに、時間的の共通點がある。有田氏がアジア局長として、最近の支那を語るべく最も適任者であることは、贅するを要しない。

松井男は、最近の駐英大使として、赴任するやあだかも一九二六年のゼネラル・ストライキに會し、それを通じていはゆるイギリスの國民性を熟察するの機會を得られたことは、その土産話の内容を得かたい豊富のものたらしめた。もし夫れ秋田氏に至つては、さきにロシア革命十周年祭に際し、その對外文化協會の賓客として、ロシア國內に留ること七ヶ月、外國人としての、最大限度の便宜を受けつゝ、その透徹した觀察眼を

もつて新興文化を覗、しかも七ヶ月といふ、ほとんど邦人として前例なき日子をそこに費したことは、それ自身たゞちにその藝術行脚の、如何に多くの收穫をもたらしたかを、語るのである。

いまこの三講演を一冊として發刊するは、民衆講座の目的を達する上に非常の効果を疑はない。

昭和三年六月

編者しるす

ソウエト・ロシアの藝術概観

秋 田 雨 雀

—(1)—
私は千九百二十七年(去年)十月十三日にモスコーに着いて、今年五月五日に東京へ歸つて來ました。滿七ヶ月私はソウエト・ロシアに滞在した譯です。その間私はウクライナ、カフカズ地方に二週間、レニングラドに一週間、白ロシアのミンスクに一週間旅行をしました。この旅行の期間の外は全部モスコーに居た譯です。ゲオルグブランデスの「ロシア印象記」によると、アレキサンダー・フォン・フンボルトはロシアの領土の廣大であることを示すために、月に譬へてみます。滿月の時の月の半球に見ゆる領土よりもロシアの領土の方が五萬平方マイル廣いといふことであつたが、私はソウエト・ロシアに旅行して先づ第一に感じたことは矢張りこの領土の廣さといふことであつた。

その次に來る感じは季節の變化といふことであつた。

私のモスコに着いたのは十月の十三日であつたが、その日はロシアの初雪で、それから今年の四月始め頃までは完全に冬の季節でした、そして五月に入つてからは急に明るい太陽が差し込んで來て、温度も急に上つて、日本の初夏の感じになりました。ロシアには何だか春がなくて冬と夏の二つの季節しかないやうに私には感ぜられた。真冬の寒さは私達には堪へ難いやうな寒さであります。五月になつてから急に自然の壓迫から解放される氣持は又何ともいへない愉快さです。暗く押へつけられるやうな季節から急に解放された夏の季節、この季節の變化はロシアの總ての藝術の基調になつてゐるやうに感ぜられました。

私はソウエト・ロシアをどういふ風に見ようとしたか、それを一寸お話しして見ませう。今日までソウエト・ロシアのイデオロギーに關した物や政治、經濟の理論的方面に關した著述などは可なり澤山にあります。私はソウエト・ロシアの實際の生活からソウエト・ロシアの進もうとしてゐるイ

デオロギーに歸納してゆかうとしたのです。そのためには第一に自分の専門である所の藝術の方面、といつても主に文學と演劇の方であるが、その方面からソウエト・ロシアを見ること、第二は革命後の若い男女の労働者の生活を實際に見ること、第三には少年男女の教育の方面からソウエト・ロシアの實際を見ようとしたのです。今夜は主にそのうちの藝術の方面に關したことをお話ししたいと思います。しかしその前に簡単に他の二つの方面のこともお話しして置く方が便利だと思ひますから一寸お話しませう。

二

革命後の労働者の生活は、私が想像してゐたよりもずっと立派な状態になつてをります。私は若い労働者の男女が工場やクラブや街で愉快に談笑してゐるのを見ました。殊に私は若い女性の笑ひを聞いて、ソウエト・ロシアに來て始めて女性の笑ひを聞いたやうに感じました。笑ひといふことには色々の性質があるけれども、その笑ひによつて、その笑ひが何處から出て來るか、どういふ性質

の喜びであるかといふことが略判るものです。それならば今日のソウエト・ロシアの男女のこの喜びは何から來てゐるでせう。これは、極自然です。彼等の生活は今日可なり良い生活條件の下に置かれてゐるからです。先づ男と女は政治的にも經濟的にも全く同じ權利を持つてゐる。労働者の最低賃金は七十三留、労働時間は七時間になり、さうして享樂の範疇が廣くなつてゐます。例へば演劇、コンサート、そのやうなものは總て職業組合員に對しては五割以上の割引があつて、さうして入場券の先取權があります。ですからソウエトの労働者は七時間の労働が終ると、直ぐに自分のクラブに行つて讀書をしたり、遊戯をしたりします。夕食後は皆伴れ立つて一流の劇場あるひはコンサートへ行きます。これは殆んど日課のやうになつてゐるといつてよいのです。ソウエト・ロシアでは演劇、コンサート、そのやうなものは一の殆んど必需品のやうな状態になつてゐます。これは實に羨ましいことだと思ひました。私はソウエト・ロシアの生活を日本の生活と比較して非常に「單純さの美」を持つてゐると感じました。例へば一日の生活にしても、朝八時から九時頃に道を歩いてゐる人は、方向こそ違へ、悉く労働のために歩いてゐる人です。午後四時から五時頃までに道を歩いてゐる人は労働か

ら歸る人、七時頃から道を歩いてゐる人の大部分は劇場やコンサートや活動見物に行く人です。そこにきちんとした生活の方向が示されて居ります。この生活の單純さは私に非常に喜びを與へました。それから又凡ゆる工場、役所にはその職業に従事してゐる人々に共通なクラブがあつて、そのクラブには舞台もあり圖書館もあり、その他に色々な娯樂室まで備へてゐますから、今日のソウエト・ロシアの労働者達の生活の範疇といふものは非常に廣くなつてゐるといふことが判ります。

三

次に少年男女の教育に關しては、一層驚くべきものがあります。私はソウエト・ロシアを去る前二ヶ月程の間は、度々少年男女の教育の状態を見る機会を持ちましたが、殊にソウエト・ロシアのピオニーロの教育には非常に得る所がありました。ピオニーロの教育は宇宙的教育、生物學的教育、社會學的教育を最も進歩した形式で兒童に施すやうになつてゐますが、その結果は今日非常に良い状態になつてゐると私にも思はれたし、學者達もさう言つてゐました。

この教育は、恐らく人類の今まで持つてゐた教育の一番進んだものではないかと私には思はれた。ソウエト・ロシアとイデオロギーを興にしてゐる人達は、この教育に關しても色々な誤つた觀察を意味的、あるひは無意識的になしてゐるやうであるけれども、恐らくソウエト・ロシアのピオニロの教育は、遅かれ早かれ人類の兒童教育の指導的な位置を獲るであらうと私には思はれました。さうしてピオニロの教育では、他の國々ではまだ空想論と思はれてゐるやうなエスペラント教育なども施されて居ります。私の知合になつたピアキナといふ一人の女性は職身的にピオニロのエスペラント教育をしてゐるのを實際に目撃して、私はひどく打たれたことがありました。

四

これから藝術の方面をお話したいと思ひます。文學の方面では大體において三つの傾向があるやうに私には思はれました。お断りして置きますが、私はロシア語に關する知識は非常に乏しいものでありますから、専門的に文學の方面を論ずることは出来ません。稍比較研究の立場から一般的にこ

れを見て行くより仕方がないのであります。

ソウエト・ロシアの文學の三つの傾向の第一は社會的イデオロギーと文學とを一緒にして行かうといふ人々であります。第二は所謂同伴者の群です。第三は少數の懷疑派の人々です。第一の派に屬する人々はリベインスキー、グラトコフ、セーフリナー、デミヤンビードヌキ、ベズミンスキーなどの人々であつて、藝術とソウエトの社會的イデオロギーと一元にするばかりでなく、自己の生活をソウエトの社會生活の中に解け込ませて行かうとしてゐる人々で、多くは若い時代に屬してゐます。

第二は曾て日本に來られたボリス・ピリニヤクであるとか、あるひはフセオドル、イワノフなどで、この人達は革命前からの作者であり、革命を是認し、又革命後立派な作物を書いてゐる人々であるけれども、革命の原動力とはなり得なかつた人々であります。この同伴者の中でもピリニヤクの方はやゝ右傾し、イワノフの方は左傾して行くやうな傾向があります。第三に屬する人々は大體個人主義的な哲學を持つてゐるソウエトの生活を批判したり、冷嘲したりしてゐます。その最もよい例は

「色のついた卵」や「犬の心」などを書いたブルガーコフなどでありませう。この派に屬する人々には今日では余り多くはありません。さうして大した勢力にはなり得ない状態に置かれてはいますが、才能の點では可なり立派なものを持つてゐる人がある様です。ソウエト・ロシアの現在の文學者達の先驅者であり、さうして凡ゆる流派の人々から尊敬されてゐるマクシム・ゴーリキーは最近三曲「四十年」の一部である所の「クリマ・サームギナの生活」を書きましたが、近頃待ちわびてゐる所のモスコに歸つたといふことは非常に嬉しいことです。コーガン教授はゴーリキーを評して「ゴーリキーこそ眞性のリアリストである。ゴーリキーがソウエト・ロシアを捨てなかつたのは、ゴーリキーが外の同時代の作家のやうにデカーダンでなかつたためだといふ意味のことをいつてみました。ソウエト・ロシアでは、ゴーリキーの六十年祭を祝ふために凡ゆる新聞雑誌をゴーリキーの研究のために費しました。ゴーリキーも又ソウエト・ロシアの最近五年間の努力の結果を見たいと希望してゐたのであるから、ゴーリキーのモスコ一行は双方に對してどんなに嬉しいことであつたでせう。」

私はコーガン教授に會つた時に、ソウエト・ロシアの文學が正當の道を履んでゐるかどうかと質問したことがありました。その時コーガン教授は「ソウエト・ロシアの文學は正當な道を履んでゐると思ふ。従來の作家達の作物を過去のどの時代の文學に比較しても決して劣つてゐると思はない。但しトルストイとダストエフスキーをまだ出さないだけである。それに加ふるにソウエト・ロシアは澤山の有望なプロレタリアの作家を出してゐる」と答へました。これは非常に正しい言葉だと私も思はれた。この外批評家にはコーガン教授、ラガチーフスキー、チユジャーク、ガルバチエフ、文部大臣をしてゐるルナチャールスキー、アイフィンワルト、今は失脚してゐるトロツキー、その外美術批評家では先年來朝されたブリーニン、アルキンなどもゐます。

五

次に演劇映畫の方面では、これも大體において三つに分けることが出来ます。第一は従來の藝術的演劇で、第二は社會教育、又は指教的精神を持った演劇、第三は労働者自身によつてなされる所全く新しい芝居であります。第一の例としては従來非常な完成を遂げてゐる所の藝術座、あるひは小劇

劇で演ぜられる芝居であります。これは主に藝術の総合的美であるとか、あるひはクラシック藝術の新らしい演出であるとか、さういふ方面をやつて居ります。私は藝術界の「夜の宿」とか、小劇場の「貧乏は罪ではない」などを見た時に矢張りロシアの藝術の完成した姿を、こゝに見ることが出来ました。第二はメーリホリド革命劇、ワフタンゴフ劇場などで演ぜられるもので、主にソウエト・ロシアの社會意識を藝術によつて示したり、あるひは革命精神を刺激したりするやうな作物を上演して居ります。ロマシヨフの作物「空氣、頭」、グリーボフの「生長」、メーリホリドの「支那よ吼えよ」、ワフタンゴフの「ラズローム」などは第一の演劇に比較して全く新しい性質を持つてゐます。

これを概括していひますと、後の演劇は群衆の生活を舞台の上に展開させて、そこから社會的なイデオロギーを作り上げて来ようといふやうなやり方であつて、舞台の様式も様々あるけれども、寫實主義と構成主義の巧妙な調和によつて表はされて居ります。こゝに一寸注意しなければならぬことは、メーリホリドの劇で歌舞伎の要素を取入れてゐるといふことであります。メーリホリドは歌舞伎をとれだけ知つてゐるか判りません。しかしメーリホリドは日本の歌舞伎から「ピオ・メカニズ

ム」の要素を取つてゐると稱して居りますが「ピオ・メカニズム」といふことは、どういふことかといふと一番簡単な方法で、一番有力な効果を得るといふことださうです。例へば一人の人が手を挙げると、他の人間は手裏剣を續に刺された形をする。又は一人の人が手を挙げると、一人の人がひつくり返るとか、さういふやうな簡単な動作によつて、大きな働きが現れるやうな技巧をいふのであるらしい。しかし私の見たメーリホリドの演出では、寧ろその反対で、余りに多くメカニズムの要素が用ひられてゐるやうに感ぜられました。例へば有名なゴゴリの「レキソール」の新演出などを見ましても「智慧の悲しみ」などの演出を見ましても、實に贅障な道具建てで歌舞伎の持つてゐる、所謂ピオ・メカニズムと正反對のものゝやうに思はれました。

六

さて第三は労働者によつて演ぜられる芝居で、その最も成功したものゝ一つはシーナヤブルーズ(青服劇團)であります。これは概括的にいふと人間の男女の裸體の美が基本になつてゐるもので、

スポーツと演劇とを一纏にしたやうなものです。殆んど裸體に近いやうな男女が權や威を持つて立派な舞臺に連れて色々なダンスをする。さうしてそれは皆ソウエト・ロシアの生産、あるひは労働に關したものを示したものです。色々な機械の形であるとか、電氣に關した器具の形であるとかを描いた權を持つた男女が、非常に巧妙なダンスをして、その權を組み合せると工場の形になるといふものがあります。又は男女のコツクの愉快なダンスもあります。人間の身體を自由に取扱つて、鐵材や木材を運搬するやうな形をしたり、エンヂンの動く形であるとか、齒車の形であるとか、色々な形を示して、その芝居を見てゐる間に私達は労働といふことの喜びを感じる。さうしてその労働はどういふ社會的な意識の下に行はなければならないかといふことを感ずる。さうしてそれが同時に一つの美しさを持つてゐるのです。私はこの芝居を對外文化聯絡協會の會長のカーメネバ夫人と一纏に見ましたが、芝居の終へた後で、批評を請はれたので「この芝居では肉體が美と一纏になり、メカニズムが美と一纏になつてゐる。さうしてこの演劇は恐らくソウエト・ロシアのもつとも先驅的な地位にゐるばかりでなく、世界の演劇の先驅をなすものであらう。」と言つた所が、その芝居の主宰者は「私

達はさういふやうな野心を持つてをりません。私達はたゞ労働者の持つてゐる藝術本能を表現するに過ぎないのです。しかしそれが世界の藝術のために貢獻をするのが出来れば、この上の幸はありません」といふ意味のことを答へました。この外、人形芝居のベトルーシカのやうなものもあります。これに關しては朝日新聞社に通信したことがありますから別にお話ししないことにします。しかし私は東京へ歸つて来て街を歩いて見ると、ベトルーシカと同じ形の人形が盛んに製作されて、縁日などで賣られてゐるのを見て非常に懐しく思ひました。シャルマンカといふ古風な楽器を鳴らしながらベトルーシカの人形と組合舞をするやうな無邪氣な光景は今でも私の眼に残つてゐます。

七

映畫の方面では「ソフキノ」といふ國立撮影會社が「バチムキン」「ゴリキキーの「母親」「オクチャヤブリー」「バリーの部屋」のやうな大作を製作したといふことは誰でも知つてをります。殊に「バチムキン」と「マーチ」は恐らく活動寫眞といふものゝ始まつて以來の傑作だといはれて居りますが、日

本では輸入禁止になつたのは誠に残念です。その代り私は「ソフキノ」に招待された時に、吾の代りに十分よく見て来た心算です。「パチムキン」「マーチ」のやうな作物はいはゆる官價藝術ではなくて、人間の本質に訴へることの藝術でありますから、世界の凡ゆる人は見てそれによつて刺戟を受けなければならぬはずであるのに、それを見るに出来ないのは實に残念です。

これを要するに、ソウエト・ロシアの藝術は革命前には一部の貴族や富豪やインテリゲンチヤにのみ開放されてゐたのに、今日では多数の労働者達に對して開放されてゐるといふ點で、藝術の職能の以上から重大な進歩をなしてゐるといふことだけは斷言出来ます。總て藝術の評價はその藝術の持つてゐる價値、および藝術の觀賞家の範圍等の兩方面から見られなければならぬ。この點でソウエト・ロシアの現在の藝術はもつとも自然な發達を遂げてゐるといひ得ると思ひます。ゲオルグブランデスは四十年前に「ロシアの未來を知ることとは全ヨーロッパの未來を知ることだ」と言ひましたが、今日ではソウエト・ロシアの未來を知るといふことは全人類の未來を知ることだと私には思はれます。

統一和平の支那

外務省アジア局長 有田 八郎

私が支那に初めて参りましたのは明治四十三年で、今から約十八年前でありました。支那と申しましても、私が初め参りましたのは北京と天津といふやうな支那本部ではなくして、滿洲の奉天であつたのであります。今もさうであります。當時はなほさら、滿洲は支那の本部とはいへるゝな點において異つて居つたのであります。當時私の参りました頃には、錫良といふ七十余のお爺さんが東三省の總督をして居りました。その後、最近八十歳歳で北京で死にました趙爾巽といふ人が、續いて東三省の總督になつたのであります。東三省の總督は滿洲の奉天省、吉林省、黒龍江省の三省を統て居つたもので、この三省にはその下に巡撫といふものがあつて、各省を治めて居つたのであり

ます。これは行政もやれば、兵馬の糧も有つて居つたのであります。この總督の下に巡撫があつて、行政をやつて居りました。外に諮議局といふものがありました。これは一種の地方議會であります。中央議會に對する地方議會で、諮議局といふものがあつたのであります。その議長は、その後支那全體の議會議長をして、名を馳せた吳景濂といふ人が、當時奉天の諮議局の議長をして居つたのであります。この諮議局といふものは、只今申しますやうに、地方の議會でありますが一體支那では日露戦争後に、立憲運動が盛んになつたのであります。當時西太后が憲政考察大臣といふものを歐米各國に派遣しました。日本にも寄越したのであります。いろ／＼憲法とか議會とかいふ風なものを研究させたのであります。さうして、それが歸つて確か明治三十九年に中央に資政院といふものをこしらへてそれから地方に諮議局といふものを立てたのであります。この諮議局は、明治四十一年八月に各省にこしらへられたのであります。さういふ風な状態でありまして、兎に角その當時にも一種の議會が滿洲に行はれて居つたのであります。これよりさき、北京では光緒皇帝が亡くなられて、明治四十二年には宣統皇帝が即位されて居たのであります。各機關ともまだ整備して居りまして、着々として立憲の準備

備だけはやつて居つたのであります。この時代における外國人の聲望といふものは、何うかと申しますと、極めて聲望が高かつた。従つて我儘をやる支那人に對する態度も傲慢であつたのであります。當時支那の一般の人民は勿論役人等でも、國際法等といふものは知らない。何か問題が起ると、それは國際法に違反して居るといふやうなことをいふと、一も二もなく附口して了つたといふ状況でありました。又外國人を尊敬するといふことも随分低だしかつたのであります。

ところがそれ以來十八年、今日はどういふ風な状況であるかと申しますと、當時位に即いて居られた宣統皇帝は今では、天津の日本租界に佻しい住居をされて居る。曾ては後宮三千の美妓に擁せられた方ではあるが、今日は僅に八十幾歳の老儒で、先生として師事して居られる陳寶琛といふ人がお守りをして居るといふ状況であります。これに反して、私が奉天に居りました當時には、僅に奉天の付近の新民屯に師團長をして居つた張作霖が今日は北京にあつて大元帥と稱して、殆んど元首に等しい暮しをして居るといふ状況であります。一方、先には兎に角、治安が保たれて居つた支那が、今日では四百余州共に亂れて麻の如しといふ風な状況にある。先に畏敬されて居つた外國人なんといふ

ものは、今日ではほとんど懲辱の的となつて居る。先に神聖視されて居た國際法、條約等は何等の權威も持た無いといふ風な状況にあるのであります。今日の状況をもつて、十八年前に比べますと實にその變革の甚だしいのに驚く譯であります。この大なる變化のあつた支那の前途は果してどういふものであるか、光明に満ちて居るか、或は悲觀すべきであるか、これは自から見る人によつて、結論は異ふと思ふのであります。私は素よりこゝでその結論を叫上げる積りはないのであります。兎に角この十八年間の變化の極めて甚だしかつたといふことだけを一言して置きたいと思ふのであります。

二

御承知の如く支那の動亂は、第一革命以來殆ど一日も止んだことがない。南の方に動亂がないと思へば北にある。北にないと思へば、南にあるといふ風に、この第一革命以來、支那にはほとんど動亂の絶え間がない。而して今日の状況は何うであるかと申しますれば、それは貴方も既に御承知の通り

り、奪天に居つた張作霖が北京に出て来て大元帥と稱して居る。これに對して蔣介石を首魁とする國民政府、これと略系統を同じうする馮玉祥、閻錫山等が、北京を包圍して居る状況であります。この蔣介石を總司令として居る國民政府、これが果して統一されてしつくり行つて居るものかといふと、決してさうではない。よく人は、支那の革命と日本の維新といふものを比較するのであります。殊にこれは支那の人がよくこれを比較する。今の支那の革命は、お國の維新當時のやうなものであるといふことを能くいふのであります。尤もこの支那の革命と日本の維新といふものには、いろ／＼似たところがないのであります。我徳川末期即ち維新直前のあの平和といふものは、平和は即ち平和でも、元祿前後の平和といふものと比べて見ると、余蘊見劣りがする。これと同様に清朝の末期の平和、即ち革命の起る少し前頃のこの平和といふものは、清朝の最も盛んだといはれた康熙とか、乾隆とかいふ時代と比較すると大いに見劣りがする。康熙、乾隆の平和といふものは、その當時の皇帝の理想とか若くは威力とかいふ風なものが精神となつて、支那全體に現れて來たための平和であります。所が革命直前の光緒年間の支那の平和といふものは、これは皇帝の理想とか皇帝の威力とかいふも

のがあつて出た平和ではないのであります。清朝の偉い家來が、地方に實力を有してをって、清朝を輔佐して人民に壓んだが爲めに、これが朝廷に反映した平和に過ぎないのであります。威力のない朝廷に、斯ういふ風な地方に實權を有つて居た清朝の名臣が、興へた一の現象に過ぎないのであります。従つてこの康熙乾隆の平和といふものと光緒時代の平和といふものには非常な相違がある。この維新前の即ち徳川末期の平和時代にあつて、日本では幕府を倒して、王政の昔に返さう、詰まり王政復古しようといふこの運動といひますか、機運といひますか、これがあつたのであります。清末の支那においても一種のさういつた機運に運動があつたのであります。それが滅滿興漢といふ字に、現れてをります。滅滿興漢といふのは、滿洲族をこぼして漢族を興すといふ意味であります。詰まり、當時の革命の精神といふものは、滅滿興漢にあつたのであります。今はやゝ意味が變つて居ります。けれども、革命の當初におきましては、いはゆるその精神は滅滿興漢の精神であつたのであります。いはゆる日本の維新の王政復古と同じやうに、支那の當時の精神は、滅滿興漢であつたのであります。又日本の維新の當時と支那の革命當時とが、同じと思はれる點は排外思想であります。維新の當

時には、日本にも排外思想があつた。支那においてもこの革命と同時に、矢張り不平等條約だとか、その他排外の思想が現れたのであります。日本における維新は王政復古であると共に外國に對する關係は、不平等條約の撤廢といふことであり、支那における運動は、滅滿興漢であると共に對外國關係において差別の撤廢である。内外人の差別をしてはいかんといふ差別の撤廢といふ點において似て居るのであります。

處が日本の維新は、島嶼伏見の戰爭から五稜廓の陥落に至るまで僅に一ヶ年半で結着がつき以來、舉國一致して内政の改善に努め、對外國關係の整理に努力して來たのであります。その結果、明治二十三年、詰まり維新からして二十三年目には國會が開設せられ、二十四年には不平等條約がイギリスとの間の條約改正によつて、全然平等のものになつたのであります。支那の革命は、明治四十五年であります。が、以來今日まで十六年になる。併しながら、先程申上りましたやうに、軍閥の戰爭が各地にあつて、何時この戰爭が終るとも判らないやうな状態にあるのであります。従つて日本が議會を開設するに至つた二十三年といふ年までには、僅に七年しか残つてゐない。處が將來七年の間に支那に完全

な國會を開ける處の望みがあるか何うか、又日本では二十五年目に不平等條約を改正したが、支那は二十五年には後八年しかない。今後八年の間に支那が各國との間の不平等條約を締結し平等條約に直すといふことが、果して出来るか何うか、我々隣邦の人間としては、勿論これを祈る次第でありますけれども、事實は何人も豫期することが出来ぬのであります。國會の開催といひ不平等條約の撤廃といひ、何れも支那の政情が安定して、さうして國內の政治が整頓せられるといふことが根本となつて居るのであります。支那は今日のやうに麻の如く亂れて、何時平定するとも判らぬやうな状況にあるのであります。しかしながら過去において、これが統一される可能性があつた時代がなかつたであらうか何うか。

三

第一革命以來、走馬燈のやうに移り變つたこの十六年の支那の歴史中にあつて、私は先づ袁世凱を思ふのであります。この袁世凱は、出は名門の士であるといふ話であります。名門の士ではあるけ

れども小さい時に余り學問はしなかつたといふ話である。支那の大官としては、戰る無學に近かつたと稱せられて居るのであります。此袁世凱といふ人は、機略縱横、闘争の如きものが有つたと云はれて居ります。李鴻章に初め起用せられ、李鴻章に察せられたが榮祿にも認くなかつた。一方光緒皇帝の下に光緒の新政に参画したのであります。又これと同時にその反對の立場にあつた西太后の帷幄に参画したといふ話で、随分融通性を持つて居た人であつたのであります。この袁世凱は清朝末期の極めて混亂時代に、宣統皇帝の朝廷において、重要な地位を占めて居つて、革命が起るや、清朝を代表して革命派と激進派と衝突したのであります。遂に宣統皇帝を退位せしめて、自分が新しい中華民國の大總統となつたのであります。詰まり袁世凱は、順進といふ風なことは余り眼中に無かつた様であります。兎に角宣統皇帝の重臣として、清朝を代表して革命派と衝突しながら、宣統皇帝を退位せしめて、自ら新しい中華民國の大總統となつたのであります。明治四十五年二月十三日南京の臨時政府に溥儀退位の通告が来た時に、臨時大總統の孫逸仙並に陳天華は、それ々々大總統および内閣總長の職を辭して、袁世凱を正式に大總統に推薦したのであります。これは袁世凱と孫逸仙の間に

豫め謀略があつたことと思はれて居るのであります。
斯様に袁世凱は、大總統になつたのでありますが、若しこの地位を善用して孫逸仙一派の國民黨と妥協し、當時外國からして借入れた金を利用して、内政の改革に使用したら、支那の統一は實現せられ名實相副へる中華民國として、今日建設の一路に進みつゝ有つたに違ひ無いと思ひます。然るに袁世凱は、大總統の位に着くと共に國民黨を壓迫し、權謀策を弄して、國民黨の重鎮であつた宋教仁を上海で人をして暗殺せしめた。これが動機になつて、國民黨は袁世凱大總統に反対の旗幟を明かにして、いはゆる第二の革命が茲に起つたのであります。其國で袁世凱は武力をもつて、この國民黨を押へると共に自ら帝位に即かうとしたのであります。大總統に満足せずしていはゆる帝制を計畫し自ら洪憲皇帝と稱して、帝位に上らうと企てたのであります。これに反対する運動が起り、雲南における唐繼堯の如き袁世凱反対の旗を擧げ、いはゆる第三革命が茲に起つたのであります。時に民國四年、即ち大正四年の十二月の末であります。これを切つかけと致しまして、貴州の劉顯世廣西の陸榮廷等が相次いで獨立し、袁世凱反対の態度を明白にしました。袁世凱は翌五年の三月二十二日に帝

制取消の申立を公にしましたが、もうその時には時機を失して、袁世凱反対の氣運は四百余州に澎湃として、如何ともすることが出来ぬといふ状況になつたのであります。さういふ紛亂の中に民國五年六月五日即ち大正五年六月五日であります。袁世凱は突如として病の爲め長逝して了つたのであります。それが爲に、時局はやゝ小康を得るやうになつたのであります。本當か嘘か知りませんが、傳へられる處によると、袁世凱が恰度死ぬ日の午前、その後大總統にまでなつた徐世昌といふ人があります。その徐世昌が袁世凱の病床を訪ねたその時に、袁世凱は苦しい息の下から、斯ういふ風な事をいつたと傳へられて居ります。「我が命目夕に迫れり、君、我が言を聞け、我れ帝制派のために誤られ、民の罪を得たり、我が家族を如何せん。帝制派といふのは、袁世凱を皇帝に祭り上げようといふ運動した一派であります。廣東の梁士詒は籌安會を組織して、袁世凱を皇帝にしようといふ運動したのであります。烏の將に死なんとするや、その聲は悲し、人の將に死なんとするや、その言善し、といふそれであります。袁世凱が臨終に、友に對して發したこの言葉には、哀憐があつて又同時に過去の自分の罪を悔いて居るのであります。併しなから袁世凱が、我が家族を如何せんと心配し

た袁世凱の家族は、今でも安全に残つて居ります。天津の英國の租界に立派な邸宅を建て、安穩な生活をして居ります。我が家族を如何せん心配した彼の家族は、安徽に英國の租界に生活して居りますけれども、この袁世凱の野心の爲めに統一の機を失つた支那は單り紛亂の中に殘されて、今や何時統一されるとも、何時平和になるとも、殆ど見當がつかない状況にあるのであります。袁世凱が若し外國から借入れた借款を以て、國民黨の壓迫や帝制運動の爲めに用ひずに、内政の改革にこれを利用し、彼の非凡な政治的力量を以て、支那四億の民衆救済といふことに當つたならば、支那は今日の紛亂に入らずして、もつと早く統一の業が出来上つて居つたに違ひない。實に惜しいとをしたものと、私は考へて居るのであります。私は支那統一の機會はこの袁世凱の大總統の時にあつたと思ふのであります。唯今のやうな事情の爲めに、出来なかつたのであります。

四

しからば、第二の機會は何時かといふと、私は黎元洪が大總統になつて、段祺瑞が其の下に内閣

總理大臣として就職した時にあつたと思ふのであります。この時には、これに反對する國民黨の一派があつたのでありますから、これを統一して行くといふことは、必ずしも容易なことではなかつたのであります。併しなから段祺瑞には、當時外國の援助が期待出来たのであります。即ち當時ヨーロッパ戦争の時代で、支那も民國六年三月即ち大正六年三月にドイツと國交を斷絶し、次いで五月にはドイツに對して宣戰を布告したのであります。恰度その時に、段祺瑞が内閣總理大臣であつたのであります。従つて協商國側では支那を援けたのであります。同情したのであります。いろ／＼支那に有利な條件を與へた。詰り段祺瑞政府に有利な條件を與へたのであります。日本が戰時借款とか、吉林黒龍江の森林借款とか、或は吉會鐵道の借款とか、高徐、順濟鐵道の借款とか、交通借款とかいふ風なものを合計一億圓余貸付けたのも此時代であります。それでこれ等の金の多くは事實反對派の壓迫の爲めに使はれたと云ふことが、後に判つたのであります。この多額の金と、武器とを有つて居つたに拘らず、段祺瑞は反對派を壓迫することに成功しなかつたばかりでなく、曹錕とか、或は吳佩孚とかいふはゆる直隸派の一派と衝突して、民國九年即ち大正九年七月十四日から十七、十八日

に控る間に、北京付近の京漢線の或地方で戦争をして敗けたのであります。さうして十九日には既に公職を抛つて、天津に歸つて了つたといふ風なことであります。段祺瑞は日本その他から得た金や武器で、反對派に對するいはゆる武力解決の舉に出でると共に、一方において邊防軍を組織したのであります。これはシベリヤ方面から、支那に來る處の侵略を防ぐといふ意味合から、支那がドイツとの戦争に参加した結果、さういふ風な軍隊が要るといふので組織したもので、日本等からも、これに要する武器を供給したり、又教官を送つたりして、立派な理想的な軍隊を作らうとしたのであります。段祺瑞一派が若し眞面目にこの邊防軍を組織したならば、これは段祺瑞の政策を實行する上において、極めて有力なものになつたに違ひないと思ふのであります。其處には我々に一寸諒解の出來ぬ心理状態があつて、折角さういふ風に甘く行掛けて居たに拘らず、眞面目に諒解もしない、又これに使ふべき金があつたに拘らず、それを軍隊に使はないで、途中で何うかなくなつて了つた、誰かのポケットに入つて了つたといふ、斯ういふ風なことであつた爲めに一番強かるべき邊防軍は、先程申しました直隸派の曹錕や吳佩孚との衝突の際には、一番脆い敗け方をしたといふやうなことであります。

す。

斯くの如くして私は支那の統一の第二の機會も空しく去つて了つたと思ふのであります。只今申しました一億數千萬圓を支那へ貸したといふのは、寺内内閣時代であります。しかしながらその後で内閣を組織しました原さんは、いはゆる原内閣の時には、一黨一派を援助しない、不干渉主義を明かにしまして、各國と共に金は支那へは借さない、又武器も供給しない、武器や金を供給したりするから支那の國體がやまないものであるといふので、各國と共に何れの一方にも金も武器も借さないといふ方針を樹てたのであります。これは原内閣の時であります。従つて段祺瑞が失脚して了つてからは、支那といふものは外國からもう一文の金も一挺の武器も得られないといふことになつたのであります。

五

然らば第三の機會は、何時かと申しますといふと、大正十三年直隸派の吳佩孚が張作霖と争つて第二奉直戦を演じたその直ぐ後であります。直隸派を倒すために張作霖と孫傳芳とが妥協したのであり

ます。妙な取組です。孫逸仙は、御承知の通り國民黨の盟主であります。張作霖は奉天派の巨魁であります。その張作霖と孫逸仙とが安協して来たのでありますから、これは一寸奇妙な現象であります。しかしながら、安協しなければ當時の直隸派といふものを、中央から一掃することが出来なかつた爲めに安協したのであります。當時張作霖と直隸派の吳佩孚とが、山海關をさしはさんで非常な激戦をして、動ともすると張作霖の方が敗けさうな形にあつたのであります。それは大正十三年であります。ところが當時北京に居りました馮玉祥が、矢張り吳佩孚の命を盡くながら奉じて、東三省を衝くために、熱河方面へ出て行つた。その馮玉祥が途中で師を返して、吳佩孚が山海關方面に行つて、張作霖と戦争をして居るその留守あとの北京に乗り込んでクーデターを行つた。これがために形勢は一變し、今までの戦勝將軍吳佩孚は、山海關から引揚げて、天津から船に乗つて南の方へ逃げ出した。揚子江の方に逃げたといふ風な形勢になつて来たのであります。その結果、張作霖と馮玉祥とが、中央北京に乗り込むことになつて、さうして豫て張作霖と安協して居つた國民黨の孫逸仙といふものを交へて、茲に一つ支那の時局を收拾しようといふことになつたのであります。それでこの立派に

擁立されて、北京に乗り込んだのが、先に失脚して天津に歸つて居た段祺瑞であります。今度はいはゆる臨時執政であります。臨時大總統であります。名前は臨時大總統といはず、臨時執政といふ名前で、北京に乗り込んだのであります。當時孫逸仙はまだ南の方に居つたのであります。茲に至つて日本を経て天津に行き其處に暫く滞留して居りまして、北京に入りましたが、間もなく病を得て死んで了つたのであります。其處で段祺瑞は、この孫逸仙の死後の國民黨のいふことを肯かなくなつて来たのであります。此形勢を見た國民黨は、段祺瑞執政と袂を別つて、南に歸るといふ風なことになりました。後は張作霖と段祺瑞と二人で、先づ北京の政局を維持して居つたのであります。その張作霖との間も又悪くなつて来た。さうして段祺瑞は大正十四年に再び天津に歸らなければならぬといふ風な羽目になつて来たのであります。

これは何が故に、段祺瑞が失敗したかと申しますと、段祺瑞の周囲をめぐるいはゆる安福派の人々の我儘から事茲に至つたのであるといふ風に信ぜられて居るのであります。現在の有様では、殆ど何時終局するとも見ぬこの支那の動亂も、斯の如く考へて見ると、過去において兎も角三回統一の

機會があつたのであります。しかしながら、第一回には袁世凱の非野心的の爲に、支那の統一の機會はなくなつて終ひ、第二回第三回は必ずしも段祺瑞とはいひませんが、段祺瑞は兎も角として、その間際に居る人々の私利私慾の爲めに遂に統一の事業が成らなかつたのであると私は考へるのであります。

斯の如くにして、支那が統一の機會を失つて居ります間に、國民黨は、廣東にあつていはゆる廣東政府を形造つて、ロシアからボロヂンを顧問として備へ、金とか武器とかいふ風に直接間接の援助を、シヤから受け、又一方蔣介石は、廣東の付近の黃埔といふ所に軍官學校はいゆる士官學校のやうなものを造つて、革命に理解のある國民黨の戦士を養成して、北伐の準備を整へて居つたのであります。それが一昨年の秋に至つて北伐の征途に上つたのであります。

六

當時廣東から出たこの蔣介石の北伐軍といふものは、果して如何なる成果を齎らすかといふことに

就ては、世間では非常な疑ひがあつたのであります。然るにその疑ひにも拘らず、この蔣介石の北伐軍は破竹の勢ひを以て、進出して来たのであります。さうして一昨年の暮頃には江西省から一は漢口の方に進み、一は長江下流へ出て来たのであります。この南京の方へ出て来た蔣介石の軍隊は、昨年の二月二十四日に北軍を追うて、南京の舊都へ入つて来たのであります。當時この南軍の一部に共產黨の分子が加はつて居り、さうしてこの共產黨の政治部員に指導された軍隊、殊に程潛、賀龍組といふこの二人の軍長の下にあつた南軍が、日本領事館を始め、イギリス、アメリカ等の領事館を掠奪し、或は領事館を殺し、居留民を傷つけ、全部に亘つて掠奪したといふいはゆる南京事件を惹起したのであります。これは皆様方の記憶に新たなる所であると言ひます。

この南京事件によつて一變遷を來した蔣介石は、一度下野したのであります。さうして日本へやつて来た。處が當時日本に居る蔣介石の友人、その他の志士は、彼を激勵した。革命の中途にして、さういふ風な意氣地のないことではいかんから、歸つて素志を貫徹するやう努力した方がいゝぢやないかといふ風な激勵を受けたために、蔣介石は支那へ歸つて、さうして再び訓令の職に就きまして、

北伐に従事するようになったのが、今年の春であります。それで河南に居る馮玉祥並に山西の閻錫山と職繋を保つて、蔣介石の軍は南京から徐州泰安といふ風に漸次北進して来たのであります。さうして濟南に近づいたのが四月の末であります。さうして五月一日から二日、三日といふ風にこの蔣介石の大軍が濟南の街へ入つて来たのであります。處が五月三日に日本人の家屋を掠奪しようとしたのを、日本兵が防止した爲めに、それが導火線となつて、南軍と日本軍とが衝突していはゆる五月三日の不祥事件を惹起しましたが、日本軍はこの南軍の濟南並に濟南付近に駐屯することを禁じました結果、今日では廿支里以外へ驅逐して居るといふ状況であります。この濟南事件に當つて、日本の居留民の處殺されたものは御承知の通り十四人であります。掠奪を受けた家数は百三十一、又兵隊の死傷数は二百數十名に上つて居るといふ状況でありますが、この濟南事件、或は南京事件といふ風なのは、一體何が故に起つたのかといふことを、我々が考へて見る必要がある。

獨り斯ういふ風な濟南事件とか南京事件といふことばかりでなく、外國人の迷惑して居るのは不法課税である。條約にも何んにもない税金を支那が取る。この不法課税は、各國商人とも非常に困つ

て居るが斯ういふことを各重層がやるのはこれは抑も何んのためか、これは一に支那の政治状態が不安であり、動亂が續いて居るといふ結果、濟南事件も南京事件も起る、又條約にも何んにもない税金を取立てるといふ事になるのである。従つて支那の平和といふことは獨り日本人ばかりでなく、支那人も、又外國人も衷心から希望して居る所で、尤も至極なことであると思ふのであります。支那が和平になるといふことは、日本としては非常に希望して居る所でありませうけれども、今のやうに毎年戰爭に次ぐに戰爭を以てして、擾亂が絶えず、さうして日本人の生命財産の保護も支那の官憲の力のみで依賴して居ることが、出来ぬといふ状況においては、これは日本として何んとかしなければならぬ。昨年五月の末に山東に日本兵四千を派出しましたのも、又今年の四月の十九日に、同方面に再び約五千の部隊を出しましたのも、要するにこの已むを得ない状況に對應する必要から出たことである。

此序にお話を致して置きたいと思ひますことは、濟南事件によつて、蔣介石が濟南から天津方面に進出することが、幾分阻止せられたやうな結果になつたのでありますが、馮玉祥の軍や關錫山の軍が、一は京漢線から、一は京滬線からして北京方面に向ふし、又馮玉祥の騎兵は津浦線の德州方面に進出したといふ風な事になりました爲に五月中旬頃には、張作霖の北京軍隊と南方の關錫山、馮玉祥、蔣介石の聯合軍とが衝突するといふ風な機會も遠くないといふ風な状況を呈して來たのであります。處がこの北京天津の間に戦争が起きたと假定しますと、その結果若し張作霖が勝つてよろしいが、張作霖が敗れば、張作霖の敗兵は滿洲に逃げ込んで來る、又敗兵が逃げ込むばかりでなく、ひよつとするといふと、張作霖の軍隊が敗れて退軍して來るその後を追うて、南軍が滿洲に入り込んで、南北兩軍が滿洲の中で戦争をする状態が起らないとも限らない。さういふ風になつて敗兵が入るとか、滿洲の中で南と北が戦争するといふことになれば、何ういふ結果になるかといふと、滿洲の治安はこれが爲めに亂されるといふことになる。滿洲には日本人が二十萬も居り朝鮮人は百萬人も居る。又我が巨額な投資をして居る南滿洲鐵道株式會社を始め、その他鐵道鐵線に亘つていろいろ日本人

關係の利權がある。そればかりではない、滿洲といふものは朝鮮と壤を接して居ますから、國防の上からいつても、滿洲の治安が亂れるといふことは、非常に日本として迷惑する處であります。それで昨午今の政府が成立しまして、いはゆる東方會議を開きました當時においても、滿洲の治安維持といふことは、日本政府が最も重要視して居る處であるといふことを決議して、世間へ發表して居るやうな露骨であります。さういふ風な露骨がありますから、今や馮玉祥、蔣介石、關錫山の聯合軍と張作霖の一派の軍隊とが、京津方面で戦争をしようといふ極めて危険な状態に立ち至つた際には日本としては、何等かその態度を表明しなければならぬといふことになつたのであります。

従つて五月の十八日に、北方においては張作霖、南方においては外交部長である曹汝霖氏に對して覺書を手交したのでありますが、その覺書は既に御承知のことと思ひますけれども、最も日本の態度を聲明した重要な文書でありますから参考のために、その部分を讀んで見ますと

「然るに今や動亂京津地方に波及せんとし、滿洲の地も又將にその影響を蒙らんとする恐れあるに至れるところ、抑も滿洲治安維持は帝國の最も重視する所にして、

荷も同地方の治安を紊し、若くはこれを紊すの原因を爲すが如き事態の發生は、帝國政府の極力阻止せんとする所なるが故に、戦亂京津地方に進展し、その禍亂滿洲に及ぼんとする場合には、帝國政府としては、滿洲治安維持の爲め適當にしてかつ有効なる處置をとらざるを得ざるにあらざらざるべし、然れども交戦者に對し、截止中立の態度を持つべき帝國政府の方針に至つては、固より何等變改なき次第なるが故に、右の如き處置に出づる場合においても、その時機と方法とにつきては、兩者に對し何等不公平なる結果を生ずるに至らざるやう周到の注意を拂ふ用意あることを懃懃す。

これが覺書の一節であります。今回、この濟南方面に、部隊を派遣しますについては、不幸にして五月二日に日本兵と南軍の一部と衝突を致して、いはゆる不祥事件が發生しましたが、元來日本の出兵をしますのは、居留民保護のため已むを得ざる必要に出たものであり、一黨一派を支持するか、或は南と北と戦争をするその作戦に關與するといふことは勿論ないのみならず、事態が平穩に

復すれば何時何時でも撤兵するといふことは、これは日本の出兵當時に聲明書をして居る、その中にも明かに書いてある通りであります。又この濟南で第六師團が南軍の一部に對して、武力を行使したといふ風なことも、これ亦居留民保護の必要からして、已むを得ずやつたことである。勿論支那全體に對して開戦をしたとか、或は南方に對して開戦したとか、或は南軍に對して戰行爲をしたとかいふ風の意味でなく、ほんの南軍の一部である不逞分子であつて、我が居留民に被害を加へ、若くはそのまゝにして置けば加へんとしたものを安全區域外に驅逐したといふ意味に止まる次第であります。又日本が覺書に書いて居りますやうに、動亂の影響が滿洲に及べば、日本としては適當にして且つ有効な處置をとらなければならないといふことをいつて居る。適當にして有効な處置といふのは、如何なるものであるかといふことは、先づ暫くお預かりとして、さういふ場合には適當なる處置を取らなければならぬといつて居るが、假りにさういふ風な處置を取つたとしても、必要やむを得ない場合に自衛の手段として、取るに過ぎないことありますからして、支那との間の友交關係、仲の好い關係には何等の變りもないし、又日本政府が從來屢々世界に對して聲明して居る所の支那の領土

保全、門戸開放、機會均等といふ斯ういふ風な主義に何等抵觸する所かないといふことは、固より當然のことでありませう。然るに今回日本が先聲論議しました覺書を南と北とに提出しました際に、上海あたりの新聞に、日本は滿洲に保護領を設定するといふ風なことを書き立て、これをアメリカとか、あるひはヨーロッパ諸國に盛んに電報を打つたものがあります。

然し斯の如きは、誣ゆるも又甚だしいものでありまして、日本の考へとは全然違つて居るのであります。一時この報道に對して、アメリカの新聞紙等は注目したのでありますけれども、固よりさういふ風な捏造のいはゆる誤傳といふものが、長閑きする譯がない。今ではアメリカにおきましても、或は又ヨーロッパ諸國におきましても、日本の滿洲に關する覺書は、何等保護領を設定するといふ趣旨ではない。日本が必要己むなき爲めにやつた處置に過ぎないといふことを十分了解されて居るやうであります。

南京事件とか、或は濟南事件といふやうな不祥事件が發生するのも、又滿洲に關して今のやうな覺書を提出するといふやうな事も、又各種の不當課税を課せられて商人が安穩に商賣に従事すること

が出来ないといふのも、畢竟するに皆戦争の結果である。支那の動亂の結果でありますから、支那が統一されて平和が生れ出づれば、前に申しましたやうな不祥事件や、不當課税といふ風なものもなくなつて了ふのでありますから、日本としては支那の和平といふことを最も希望する所でありませう。従つて只今論議しました滿洲に關する覺書の一貫最初にこの平和のことを述べて居るのであります。即ち

「永年に亘る支那戰亂の結果、一般國民の生活は極度の不安と困憊とに陥り、支那在留外國人又居に安んじ業に従ふに由なき状況にあるを以て、戦亂が一日も速かに終息し、統一せる和平の支那を見るに至らんことは、外支人の齊しく熱望する所に於て、殊に支那の隣邦として利害關係特に深き帝國の翹望して措かざる所なり」
斯ういふ風に覺書の冒頭に書いてあるのであります。

要するに、總てのことは支那の平和といふことにかゝつて居ります。支那の平和さへ實現されば、濟南事件の如き不祥事も、南京事件の如き不祥事も、又不當課税もなくなるから、支那と密接な關係にある日本政府としては、支那の和平を希望するといふことを論じて居る次第であります。先程も述べましたやうに、支那の革命といふものを、日本の維新と比較する人があります。或點においては、勿論似て居る處がありますけれども、しかしながら、この日本の維新と支那の革命といふものには余程の違ひがある。詰りこれは人の問題である。明治維新の時代に、活動せられた日本の元勳の間には、少しの私心といふものもなく、公に奉ずるといふ心より外ない。又日本國に盡す、皇室のために盡すといふ赤心より外なかつたのであります。それであるから、露府の大政奉還のやうなことも、又廢藩置縣といふやうなことも、極めて平和にすらくと行つた。これは維新に關係した人々に少しも私心のないためであります。處が、この支那の革命は何うかと申しますと、これに關係した人は袁世凱のやうな人を始めとして、革命黨の志士といふやうな人の中にも、全部とはいひませんが、何うも私の見る處では私心が多いぢやないかといふ風に考へるのであります。

従つて、第一革命以來十有六年を總てした今日、尙當初の混亂状態を改めることが出来ない譯だと思ふのであります。支那の人にはせると、それは違ふ。日本は、維新の當時の面積は、僅に二萬五千方里、人口は三千五百萬に足りなかつた。然るに今の支那は何うかといふと、面積は七十二萬方里、人口は四億である。斯くの如き大國において、革命が一朝一夕に出来るものではない。日本のやうな小さい國であれば、維新當時のやうないはゆる主政復古も、廢藩置縣も、出来たであらうが、支那のやうな大國では、さう急に行くものではないといふのであります。これはさういふことも淺らがあるかも知れませんが、思ふけれども、それは末のことで、要するに、根本は精神で、維新の改革等に從事した人の精神といふものと違ふからして、茲に至つて居ることと思ふのであります。支那の前途といふものを豫断するのは、これは極めて危険なことである。いはゆる支那通と稱せられる人が、支那の戦況を豫断したり、政局を豫断したり、將來を豫断したりするが、一つとして當つたことはない。近頃はもう支那のことを豫断して、何んとか、かんとかいふとは危険であるといふことが、一般に判つて來たのであります。私は少くとも、過去の事實から見ても、近き將來には余り

樂觀は出来ないと思ふのであります。支那の國民の多數が、この打倒く戦争のために、非常に疲弊も
し、困難もして居るが、まだ暫くはこの困難からして、遁れることは遺憾ながら出来ないぢやないか
といふ風に考へるのであります。しかしながら、我々は支那のためにも、又日本のためにも、又廣く
世界のためといふ方面からいつても、支那の和平といふものを、どうしても成るべく早く實現すると
いふことにしなければならぬのです。従つて我々の支那に對する態度といふものは、支那の和平統一
を希望するといふ意味を標語として進まなければならぬと思ふのであります。

従來支那に關する標語としては、日支親善といふ言葉がある。又日支共存共榮といふ言葉がある。
これは何れもその時代の要求によつて生じた言葉であり、標語である。日支親善、日支共存共榮、詰
まり往年日本と支那との關係が、何うも思はしく行かなかつた。今でも思はしく行つてをりません
が、當時痛切に感じた時代に、もう少し日本と支那とを親善にしなければならぬといふことを痛感し
て、この日支親善といふ言葉を見出したのであります。しかしながら、その日支親善といふ言葉に拘ら
ず、日本と支那との關係は、何うも改善しないために、今日では日支親善といふと、何んだか空つば

な空虚な言葉のやうに感ぜられるといふ風になつて來て居るのであります。又この支那を開闢すると
か、支那の經濟發展を計るとか、支那との交通を盛んにするとかいふ風なことは、唯日本の必要から
ばかり出たことである。支那の經濟開闢を計ることは、日本の得にはなるが、支那の得にはならない
といふ風な感じを一部に起さしめた時には、日本と支那とは共に存立し、共に榮むなければならぬと
いふ風に相成りまして、いはゆる日支共存共榮といふ標語が出来たのであります。私はこの日支親
善とか、あるひは日支共存共榮といふこの二つの言葉は、これは日本として何時までも必要な言葉だ
と思ふのであります。實現は随分困難なことか知りませんが、我々が標語として是非永くこれを傳へ
なければならぬと思ふのであります。しかし差當り私はこの言葉の外に一つ加へたいと思ふので
あります。それは此處に書いてある。

統一和平の支那といふ標語であります。即ち我々が一日も早く統一せる和平の支那の實現を望むと
いふ意味であります。これは先程お話ししましたこの覺書の中に書いてある言葉であります。私は現
代のいはゆる國民外交の時代におきまして、諸君が外交に關して十分な理解を持たれるといふこと

は、極めて必要なことであると思ふのであります。殊に支那に對する理解といふものを持たれるといふことは、極めて必要であると思ふのであります。今や支那との關係、對支那の關係といふものが益々困難を加へつゝあるに就きましては、諸君は我々職業外交官と共に一致協力して、この統一和平の支那といふ標語の下に、これが實現に向つて努力せられんことを希望して已まない次第であります。

イギリスの土産話

英國大使 松井慶四郎

諸君、唯今は目下日本で一般にもつとも興味をもつて居る支那の問題について、詳しく懇切に説明されました。諸君も、定めし満足に聞かれたことであらうと思ひます。私も支那には在任したこともありませう。支那の第一革命當時には、支那に出張したこと等もありまして、一方ならず支那の事變の發展については注意を拂つて居る一人であります。唯今の有田君の話はもつとも興味ある言葉であつたと思ひます。私はこれに代へて今日このイギリスの話を少ししたいと思います。ロンドンを立ちます少し前に、朝日新聞の通信員伊藤君が来て、東京から電報が来たがどうぞ講話をしてくれといひました。余り手回し

のいゝことで、断るに断り切れず、何をいうていゝかわからぬが兎に角出て話をするだけのことはしようといつて歸つて來ましたのであります。さて今日こゝへ着いて見ますと、お約束をしたが一掃何をいうていゝかわからぬ。いへば澤山あるやうであります。まづ時間に限りのある講話としては、さう何もかも話すといふ譯には参りません。唯この度イギリスで見たり聞いたりしたことののあるのをお話ししたなら或は御参考になるかと思ひます。

私がイギリスに参りましたのは、初めは怡度今から三十年程前であります。この度三十年も経つた今日になつてイギリスに行つて見ますと、無論いろ／＼な變化もあり、又あゝいふ實直な國だけになかく變らない點もあるのであります。例へば極く誰の眼にも着くことを申上げますと、ロンドンのリージエント・ストリートと申しますのは、怡度銀座といふやうな處になるのであります。非常に

街が立派であります。或はピカデリーといふやうな處も怡度銀座見たやうな處であります。これも非常に立派であります。私がロンドンに着きました翌日大使館の事務所に行つて用達して、夕方歸つて來て見ますといふと、事務所の向ふから眞赤な探照燈を照らして居る。はて、何事であらうかと思つて見ますと、彼處に出來ましたセルフリツチスといふ怡度此方で申しますと、三越のやうな店で、いろ／＼な色を縫して廣告をして居るのであります。三十年経つてロンドンに行きました私は、怡度赤毛布が都會へ出て、びつくりして目をみはるやうに、そのセルフリツチスを見たやうな處であります。

それから街の様子も如何にも變つて居るから、オックスフォード・ストリートをすつと歩いてオックスフォード・サーカスを通つて行くと、もうすつと變つて居る。リージエント・ストリートへ行つても、昔ないやうな店が澤山出來て居る。なほ霧があつてくすぶつては居るが、大きな建物や段々殖わて居る。大戦争當時隨分國の金を使ひ、澤山の人を殺したにも拘らず、これだけに段々變達して行くといふことは、流石に大國であると斯う思ひながら、まるで赤毛布のやうな氣持で、賑やかな街を

ぶらりぶらり歩いて歸つたやうな次第であります。

又もう一つ私が三十年後に行つて見て驚いたのは、道路の廣くなつたことあります。一昨年夏、ロンドンから出てスコットランドへ参りました。皆さん御承知の、ワイレージ・オヴ・レーキといふスコットランドの湖水の地方を廻つて、又ロンドンへ戻つて参りました。自動車で十五日間ばかり旅行しました。時には一日二百マイル位自動車で歩きました。この長い間に何處へ行つても道が實に綺麗で、まるで混和土ですつかり拵へ上げてある。恰度此方へ歸つて見ますと、今度出来ました外苑の道路のやうです。あゝいふ風な道が國中に出来て居るのであります。或はゴールデンダへ遊びに行つても、或は南海岸の保養地に遊びに行つて見ましても、總て自動車で出かけますが、何處へ行つても道が綺麗であります。ロンドンの街の中でも随分道が綺麗になつた。あの通り往來の銀繁な通りでもあります。實に道が綺麗である。三十年前に私がロンドンに居りました時には、道を横切ると何うしても靴が汚れる。ロンドンは冬霧があり、雨があつて随分道が惡く、道を横切るときには、何うしても靴が汚れる。夜分私共の居ります街からクラブへ喉の御飯を食へに行く時に歩いて行つて、

二三丁で譯のない所であるが、道を横切ると靴が汚れる。クラブへ行つて汚れた靴では困るから、その時分にハンソムといふゆる馬車であります。それに乗つて行つたものであります。晝間だといふと、この道を等で掃いて綺麗にして居る奴があつて、其處を通る人から一文なり二文なり貰ふことを豫期して道を掃除して居るものがあつた。今度行くときさういふものは居ない。余り道が綺麗になつたから必要がなくなつた。今もつて雨が降り、多少霧のあることは已むを得ないが、さう靴は汚れない。今度行つて最も私の感心したのは、道路の良くなつたことでありました。然もロンドン市内ばかりでなく、全國に亘つて何處へ行つても道が良くなつて居るといふことを非常に感したのであります。これ等は、まづロンドンに参りまして、自分の眼で見た一二の變化であります。

二

しかしながら、イギリス人は變つて居らぬのであります。御承知の通り、イギリス人といふのは、非常に保守的な人間であります。余り騒いだりなんかしない人間であります。道を歩かしても、余

りやかましくなく歩いて居る。巡査が往來にあつて馬車自動車交通を整理して居る。もう禪山の自動車馬車が出て来るが、巡査は黙つて手で指圖をして居る。手の挙げ方で、自由自在にそれが出て行く。さういふ風なことが長い間の訓練によつて、出来て居る人間であります。さうして非常に保守的でありますから、昔からの習慣といふものは、余り變へないのであります。一例を申しますれば、毎年ロンドンの市長が選ばれますといふと、確か十一月の三日であつたと思ひますが、新しい市長と舊い市長が、一緒に行列に加はつて、いろ／＼な山車が出て、ロンドンの街の一部分を練つて歩くのであります。さうしてそれが済みますと、その暇にロンドン市長の役所で大きな宴會がある。その時には、詩まり市長の就職の披露をして、同時にイギリスの總理大臣が選ばれて、毎年施政の演説をするといふ慣例になつてをります。これがもう長く、何時から始まつたか、余程古くから行はれて居る。ナポレオン戦争の時に國を擧げて戦つて國中が非常に心配をしたをつた時でも、この儀式は怠らず、立派に行列をして山車を練り歩いたといふことであります。又この度の世界の大戦争が五年間も続いた間でも、一年間も休まずに、同じ儀式をして行列をして、矢張り宴會をしたといふことであります。

ドイツの飛行機が飛んで来て、ロンドンの市中に爆弾を落しても、その時に落ちるなら落ちても已むを得ぬ。昔からの習慣だから、その通りやるといつてちつとも、變らずにやつてをつたといふことであります。これ等がイギリス人の一種の保守的な人間であるといふ一つの例證であるかと思ひます。それから又イギリス人は、非常に冷淡であります。余り熱しない。これはイギリスの國が北の方に偏在してをつて、氣候が寒いといふやうな關係もあらうかと思ひます。が、兎に角余り騒がないで、實直に仕事をするといふ國であります。例へば少し話が傍へ入るかも知れませんが、一昨年の石炭坑夫の大ストライキの時、恰度私も居りました。何ういふことであらうかと心配したが、いよく何うもストライキになりさうであります。そのストライキの起る前の日であります。即ちメーデーにハイドパークに行つて見ると、労働者が皆んな集つて来て居る。これはストライキを前提として幾らかデモンストレーションの意味がありますが、メーデーであるから、労働者が休みの積りで来て居る。ハイドパークの庭場には、労働者がそれ／＼荷物の馬車の上に家族を乗せて遊びに来て居る。さういふのが禪山彼方此方に居ります。又芝生の生けて居る所には、労働者が或は共產黨であるとか

或は社會黨であるとか、或は又インドの何んとかいふやうな、いろ／＼な旗を押し立て、さうして群衆を集めて、それぞれ自分の演説をやつて居る。けれども何等黨といふものがない。私はその中を彼方を見たり、此方を見たりして行く中に、或地點に小さな小屋があつて、それが物見台みたやうになつてゐた。ロンドンの警察の幹部の人が其處に来て居つた。さうして巡査が澤山其處に居りました。私がその近邊に行きますと、私の知人であつた處の詰まり警視廳の警視總監ともいふやうな人がやつて来て何うですかといふ。イヤ實はどういふことかと思つて、遊び勞々運動勞々見に来たのですといつて話をしたが、日本の群衆は斯ういふ場合に、何うですかといふ。何うも日本はこんな譯には行きません。貴方の所は、實におとなしいといつて話をしました。成程見て居りますといふと巡査が澤山来て居りますけれども、一向知らぬ顔をして居る。労働者の家族が、荷車に乗つて遊びに来て居ると、巡査がその脇に来て労働者の家族のものをからかつて話をして居る。不慮な形勢は少しも見えない。或は演説をやつて、手を振つたりなんかしてやつて居るが、聽いて居る群衆は、一向激して来ない。さうして演説が済んで引掛ける處を見ますと、ちゃんと旗を持つて出かけて行

く、ロンドンでは市中のデモンストレーションは許されないが、公園でやる分には構はない。公園では何をやつても構はぬ。其處で、やれ民主黨だとか、やれ社會黨だとかいふ旗を持つて歩いて行く。その一群は何十人か付いて行くが、巡査はさうですね、片側に三人位づつ、右と左に六人付いて居ります。一緒にパークを出て付いて行きます。これでは一向我々の考へるデモンストレーションにならぬやうであります。イギリスではそれでいゝのであります。さうしてその群衆はハイドパークを出て、それぞれ自分の部署に着いて、大體町外れの所に行くのです。その後には巡査が少し付いて行く、何んといふかそれを見守りながら付いて行くといふ状態です。ハイドパークの中では幾ら激然なことをやつても構はぬ。これは平生もやつて居る。ロンドンの人に云はせると、あれは安全辦で、パークの中で發して置けばいゝといつて居る。成程さうらしい。外では一切やらぬ。さういふ風でちゃんと秩序を守つて出かけて行く。

さていよくそれが済んで今度は本當のストライキになる。總ストライキといふことになりました。

恰度その晩に、私が日本の大使館で、お客を招くことにして居つた。何うもいよくその前日に
なると、ストライキになりさうです。案内状を引つ込める譯にも行かず、その朝になつて取消す譯に
も行かず、非常に困つた。しかし、まあロンドンのことであるから、何んなどなからう、差支な
らうと思つて、いよくその前夜になつて、ゼネラルストライキ同盟罷業といふことになりました
けれども、もう横はずにお客を致しました。中には恰度その時にタクシーに乗つて来ようとした人
にタクシーがなくなつて来られない。友達の自動車を借りて、其處まで送つて貰つて幸ひをしたとい
つたやうな次第で、お客さんも皆んな揃つた。労働運動に關係した二三の方は見れなかつた。その方
は御馳走ところぢやない。この連中は見れなかつたが、後の連中は皆揃つて寄つて下さつた。私はよ
く皆んなおいで下さつた、今日は實は貴方に食べるものを上げることが出来るかどうかと心配しま
したが、大丈夫食べるものはありますから、何うぞ御山上つて下さいといつて、まあ無事にお客を済
まして歸しました。この連同盟のストライキの罷いたのは十二三日であります。段々ひどくなりまし
た。初めは鐵道が通はなくなり、市中の乗合が通はなくなり、電車も通はなくなつた。今度はタクシ

しも通はなくなるといふ騒ぎで、薩張り交通が止まつて了つた。
けれども、この時は政府も豫て警備をして居つた。今度はもういよくゼネラルストライキ同盟
罷業といふことになる。政府も打掃ては置けないから、何時までも、これに對する對抗策を講じな
ければならぬといふので、豫て準備もして居つたのであります。いよくといふ場合に、
成程汽車は動かぬ。しかし、素人若くは有志者が出て来て、汽車を及ばずなから一台出し二台出し、
電車も或ものが出来て来て出す、それから乗氣台自動車も亦有志者が出来て来て出すといふ風になり、又
餘々自分で車を有つて居る人はちやんと一定の場所に報告して、私の車を提供して、私が動かしてや
るから、何うぞお使い下さいといつて、皆んな出て来て、これに對する對抗策を致しました。無論初
めの數日は、随分交通が亂れて困りましたが、段々それに対する對抗策が効を奏して、遂々同盟罷
業といふものは何うもいかにといふことにストライキ側の方でも考へまして、茲に終りを見て了つた
といふ次第であります。

その時にあれだけの大騒ぎをやつて居つて、怪我人が出来たとか死傷があつたといふことは實に少

い。何處かの店へ石を放り投げるとか、或は米合自動車に石を放り投げるとかいふことが、我々が考へるともつとあるべきだらうと思ふが實に少い。相當に保護の手續も取つて居るが、しかしながら一體に公衆及びストライキをやるもの總てが割合におとなしい。その結果後で議會での質問に對して、内務大臣の答へによれば、總ストライキに方つて起つた事件で抑引されたものは、イギリスとスコットランドで千有餘、しかもその内の大多數は輕微な罪であるから、間もなく釋放したのであります。その後になつて日本から労働運動等に關係した方が、彼方へ見わたして、私がその話をすると、日本ではとてもそんなことぢや濟まない。實に不思議であるといはれましたが、何うもイギリスのやり方は、余程妙なものであります。これは、一つは多年の訓練の結果、唯獨暴をしたばかりでは、自分の目的を達しないといふことを余程留つて居るからであるかと思ふのであります。瑕にその總ストライキをやつて居ります中に、イギリスの有名な自由黨の法律弁護士は、これは不法だといふ。ゼネラルストライキは不法だといふ。不法には違ひないと誰も思ひますけれども、不法だといふことをいつて居りますと、遂々労働黨の方もこれを認めて、成る程さうぢや、このやり方は不法であるといつ

て、これを認めるといふ次第であります。これは一寸おかしが兎に角さういふ次第であります。これは長い間の多年の訓練で圖彙をしてもいかないといふことを、公衆が知つて居るのが、一つの理由かと思ふのであります。

四

又もう一つは、イギリス人は今日これだけの大國を爲して居るが、何うして偉くなつたかと斯ういふことを考へますと、今いふやうな堅實な働き方といふことが一つ、同時に堅實でありますけれども、却々堅忍不拔で冒險をやる。これまでの歴史を見ますと、イギリスの國內においても、昔から始終小さな事件は起つてをります。お互に戦つて強いのが勝つ、それが終ひに段々治まつて來ると、國內だけでは住めないからといふので各地に出かけて行つて、冒險家が或はアフリカに、或はアメリカに、その外諸方に行つて居を定めるといふことになつて、段々あれだけの大きな國が出来たのであります。今日のイギリスの大帝國が出来たといふのは、イギリス人の堅忍不拔で、冒險的な活動から起

つて来たのでありまして、これまでに致しました處の努力といふものは、實に大きいのであります。今日イギリスの偉くなつたといふことは、一朝一夕のことではない。矢張り堅實にして、しかも冒險的な人間が働いたといふのが、今日實を結んだ點であります。これ等は我々が外國人を見て余蘊なく服すべき點であると思ふのであります。但し、茲にもう一つイギリスの感心すべきことは、多年の諷刺で今のやうに着實になつて居りますが、これは内政方面ばかりでなく、外交方面でも、矢張りさうであります。自分のいろ／＼不愉快なことがあれば無議論をするが、今度はいかんと思ふと、或程度までは議論するけれども、それから先は假令自分の不愉快なことがあつても、知らぬ顔をして黙つて居る。時機を見て目的を達するまでは知らぬ顔をして居るといふ様なやり方をして居る。これは政府といはず、人民といはず、皆んなさういふ心持ちでやつて居ります。何故にさういふ様になつて來て居るかといふと、これも矢張り國民性の然らしめる處であります。けれども又一方からいふと、歴史がさういふ風にさせたのであります。御承知の通り、ヨーロッパは昔から大國が境を接して漸んで居る。昔からいつても、三十年戦争であるとか、或はナポレオン戦争であるとか、いふものは大

きな戦争である。國を踏して戦つたことが何回もあるのであります。皆んな折衝といふことに纏れて居りますが、特にイギリス人はその點は余蘊なく纏れて居るかと思ひます。フランスの如きドイツと境を接して、昔からいろ／＼な歴史があつて、随分纏れて居る。又ロシアの如きあゝいふ大國で随分外國といろ／＼な關係があつて、これも随分纏れて居りますけれども、何うもイギリスが一番その邊の修業がつんで居つたぢやないかと思ひます。一寸例を申し上げますと、我々個人に致しても、苦勞をした人と苦勞をしない人がある。苦勞をしない人は、つまらぬことに直ぐ腹を立てるが、苦勞をした人は、まあこらへるといつてのみ込んで居るといふ風で、結局は自分の目的を達するといふことに努める。イギリス人とは限りませんが、特にイギリス人の長じて居るのは其處にあつて、苦勞をした國民といふことが今日のイギリスの大を爲した原因であらうかと思ふのであります。

五

これだけの大體のイギリスの國民性を見て置きまして、今日のイギリスを見ると、何うかと申し上げます

と、私がこの前に居りました三十年前のイギリスと、今度行つて見たイギリスと、何ら違つて居るかといふに、先程申上りました建物の立派になつたこと、道路が良くなつたといふことの外に、兎に角今度の世界大戦争の影響を受けて、矢張り非常に苦しんだのであります。未だに、困苦しみを受けて居るといふことが見ゆるのであります。これは、イギリスばかりではありません。矢張りフランスも然り、ドイツも然り、各國ともさうであります。今夜は私はイギリスの話を致すのでありますから、イギリスのことをお話するのであります。

昔はイギリスが商賣上に世界に雄飛して居つて、世界で一番の大商業國であつたのであります。それが今度の戦争の影響を受けて、却々商賣もしにくくなつたのみならず、第一國として非常な借金をした。その借金を返して行かなければならぬ。余り数字のことは私は得意でもありませんし、又斯ういふ所でお話上げるのに、数字を擧げることは差控へますが、さつと申上げますと、イギリスの國債といふものは、今七十億ポンドあります。七百億圓以上になります。その内に外債は、主にアメリカであります。十一億ポンド以上あり、六十億ポンドが内債であります。これだけの借金を戦ひの

ために背負つて、この借金を拂つて行かなければならぬ。これは却々容易ならぬ負債であります。従つて今日イギリス人は、大變な所得税を拂ひ、或は相続税を拂ふといふやうなことで、國民の負債が非常に多いのであります。結局多くの負債を持つて、列國と共に商賣をして行かうといふのでありますから余程苦しい。しかし、外のフランスも、ドイツも、イタリーも借金を背負つて同じことではありますが、茲に一番困難がある。もう一つは、語り大戦以前は、イギリスは世界における總ての商賣に就て、まづ第一であつたのであります。いはば戦争が少くつて、まあ一口にいへば、獨舞台であつたのであります。それが今日になつて見ると、アメリカも戦争に出て来る、或は物に付ては、フランスも戦争である、ドイツも戦争である、イタリーも戦争である、又極小さい國ではあるが、日本も戦争する一人であるといふ風に、昔のやうにイギリスの獨舞台ですまして居る譯には行かなくなつた。これ等は戦争後の一つの状態であります。けれども、矢張り數百年に亘つて蓄積した力といふものは、非常に大きなものであります。又各地における商業上の取引の便宜を有つて居るといふことは、何んとしてもイギリスが一番余計に便利を有つて居るのださうであります。従つて海外の金融市

場としては、皆御承知だらうと思ひますが、いろ／＼爲替を買つたり賣つたりすることは、何うもイギリスのロンドンが一番便利である。あれだけの戦争をして、あれだけの借金をしたロンドンが、世界の市場たることを失はない有様であります。アメリカには大變金は入つて居るが、また世界の金の中心を取るといふことが何うも出来ぬらしいのであります。

年にイギリスがやつて居ります貿易といふものは、輸出輸入を合せて約八億ポンドありますが、何時でも輸入の方が多くて輸出が少い。昔から数十年、或はもつと長く、輸入超過をやつて居るといふのは、何ういふ譯かといふと、詰り貿易外の受入高が薄山あつた。海外に投資したものと利息であるとか、或はイギリスの船舶の歸けて来る利益であるといふやうなものが入つて来て、貿易表に出て居ない金が入つて来ることによつて、命拾ひをして居つた。今日戦争後の困難な位置になつても、尙まだ貿易外の収入といふものが多いのであります。最近の統計によりますと、貿易外収入が尙四億五千萬ポンド位は毎年あるんださうであります。そこらにまつては、實にまだ却々多年蓄積した力が大きいといふことがわかるのであります。最も一昨年石炭のストライキで、總同盟罷業が十日間続いて、

その後石炭坑夫のストライキは尙六ヶ月も続いた。これがために受けたイギリスの損害は、非常に大きなもので、何の位の損失になるか一寸計算は出来ないものであります。けれども、自由黨の前の商務大臣をして居つた人の計算によると、先づ三億ポンドの損である。然して政府の受けた損害は、所得税の減少その他によつて先づ三千萬から四千萬ポンドの損害である。如何にしても、一年にこれだけの損害を受けるといふことは、却々容易ならぬことでもあります。従つて大蔵大臣は一昨年の際を編成するに際して、非常に苦心をしてその辻褄を合せなければならなかつたといふ譯であります。まあ幸にしていろ／＼な方法をして、やつて行つたのであります。昨年は何うやらうまく折台がついて、先づ常態に復しつゝあるといふことであります。斯の如く非常な戦争の影響を受けたにも拘らず、なほ昔の位置を維持して行くことに汲々として、相當に成功しつゝあるといふのは、流石は長い間に努力した結果の賜物であるかと思ふのであります。

以上は一の産業方面から見ました大體の今日のイギリスの有様であります。政治上のイギリスはどうかと申しますと、御承知の通り、イギリスは、皇帝および議會といふものが、イギリスの中心になつて居ります。議會では、總ての問題を本當に慎重審議するのであります。總ての問題を議會へ持つて来て、議會の討議を求めれば如何なる問題でも討議されるのであります。従つてどんな問題でも、輕卒に決定して丁ふといふことはない。一寸例をお話致しますると、この頃イギリスでバイブルの修正をしなければならぬといふことが問題になつた。これは宗教關係のことでありまして、時勢が段々變つて来たから、バイブルの中の修正をしなければならぬといふ意見が起つた。これは國分長い前から、議論が起つて居つたのであります。先づ第一に關係のある坊さんの方で研究を遂げて、さうして坊さんの方のいろいろな集會で決定した後、更に又これを議會にかけ、議會でこれを討議して決定することになつた。もう國分長く研究したものであるから、議會にかければすらすらと通るであらうと考へて居つた處が、却々さうは行かぬ。遂々反對が出て、折角坊さん達が定めた案は通らなくなつて、今日まだ議して居るといふ上合であります。却々容易に決しない。我々から考へると、慎重

に過ぎやしないかといふ氣持もするが、却々急がず焦らす行く、又他の例を申しますると、イギリスの相続法及び昔からのイギリスの不動産法律といふものは、非常に込み入つたもので、一寸専門の法律家でなければ、先づ素人はわからぬものとなつて居る。何うも困るといふ議論が起つて、これは改正した方がいゝといふので、イギリスの詰り最高官である人が、三千何年かゝつてその成案を拵へて、これを議會へかけて討論して成案が出来たといふ上合に急にはやらない。斯ういふことが又一寸イギリス人の特徴であります。總て政治方面におきましても却々注意してやつて居るのであります。但し時勢の變遷と共に昔よりは幾らかいろいろ事情が煩雜になつて來ますから、昔のやうには行かない事情もあります。又黨派關係もあつて、十分に行かないやうな事情もありませんが、大體そんな状態があります。

今度最も興味を有つて居る問題は、婦人參政權の問題であります。只今の處では、三十歳でなければ婦人は參政權は有てないのであります。今度の改正は二十一歳から、男女とも齊しく參政權を有つといふことになつたのであります。これ等も大分反對がありましたか、しかしながら斯ういふ政治

その問題にたりますと、参政權を興へ投票權を興へるといふ方が、政黨の立場から利益であらうと思はれる。當時議會で討論しました結果を見ますと、大多數で通つて居ります。その結果、一寸數字にありますが、この新法によりますと、男子の有權者の總數が千二百二十五萬、婦人の有權者の總數が千四百五十萬、即ち婦人の方が百七十五萬有權者が余計に多いといふことであります。現在よりも婦人の有權者數が五百二十五萬種ゆるんださうであります。兎も何二十一からの若い婦人が皆投票することが出来る。これ等はイギリスとしては随分思ひ切つた法律であらうと思ひます。もう大勢は決つて居るから變らないこと、私は思ひます。總てこのイギリスではさういふ風に政治上の問題に就ては、却々慎重審議してやつて居るのであります。これ等が、戰爭の結果産業方面で大分動搖があるに拘らず、聯合政治下に變化がないといふ一つの例證であります。

それから話が少し變りますが、イギリスは繼承法の通り、その本國は小さなもので、植民地が世界の各地にあります。例へばカナダの如き、もう非常な大きな國になつて了りました。オーストラリアもその通りであります。南アフリカにもイギリスの植民地があります。昔のやうに子供が小さかつた

時分は、余程やり好かつたのであります。段々子供が大きくなつてくると、いろいろ本國と植民地の關係が複雑になつて、今日ではいはゆるイギリスといふ帝國會議なるものが二年か三年に一べんづつ開かれて居るが、これが非常な重要な會議をすることになります。いはゞ帝國內の外交になるのであります。この問題に就ては、余程植民地と本國との間によく諒解を遂げて、研究を續けつゝあるのであります。一つの例を申し上げますとイギリス全帝國の國防問題、イギリス本國の國防問題でなく帝國全體の國防をどうするか、これは非常に大きな問題で、世界中に亘つた植民地と、本國と聯絡を取つて、國防をやらなければならぬ。或は又商業上の關係、イギリス帝國の商業といふものは、何うするかといふやうな問題がある。さういふことに就て研究をしなければならぬといふやうな問題が起つて、帝國會議を開いてやつて見ると、却々問題が澤山ございます。植民地の總理と、その外有力者が二年か三年に一度行きますして、この問題を議してをります。これはイギリスの帝國が、これからの發展の上に非常に大きな影響のある問題であつて、日本等もイギリス本國ばかりでなしに、或はオーストラリア、或はカナダ等といふやうなものと密接になつて来る。従つて日本としても、十分に注意し

て行かなければならぬ問題であらうと思ひます。更にイギリスは今の帝國問題ばかりでなしに、從來世界の列國の間に立つて、先づ首班の位置を占めて居つたといふやうな關係から、外交問題に就ては、總ての外交問題にイギリスが顔を出して居つたのであります。即ち今度の大戰争におきまして、無論フランスが戦地であり、それから陸軍においてはフランスが最も重要な地位を占めて居りましたけれども、海軍といふ方面からいふと、イギリスが一番重要な關係を有つてゐたといふやうな點から、英佛相繼いでこの間の戦争に、最も大なる努力を致したのであります。

その關係からいよ／＼今度の大戰争の克復の後には、英佛聯合して世界の平和を維持して行かなければならぬといふ立場になつてをりますが、却々大戰争の影響で何處もかも不安であります。不安といふても別に急に何處かで戦争が起るといふ状態ではない。何んとなく不安である。ヨーロッパの眞中を見ても、或はロシアを見ても、その外の地方に行つても何んとな／＼不安な状態にある。これは何うしてもこの不安を除去して、さうして世界に安心を興へて行かなければならぬ。それについては矢張りイギリスが一番最も力を盡さなければならぬといふ關係から、ヴェルサイユの講和條約以來最も

努力をしてをつたのであります。最近になりまして、いはゆるスイスのロカルノで出来ました條約でヨーロッパの主なる國の間の平和だけは、先づ保障されるといふことにマアなつてをります。しかし却々書付一つでは十分に行かぬといふ心配もありまして、皆なその上にもその上にも平和を維持する方法を講じて居るのであります。唯今のイギリスの政府、殊に今のイギリスの外務大臣サー・ジェー・オースチン・チエンバーレンといふ人は、ロカルノ條約を拒むるについて、最も與つて力のあつた人であります。その人は今日戦は出来るものぢやない、戦をすべき場合でもない。何うしても協定して、協定政策を取つて行かなければならぬといふて、最もその方面に力を注いで居る人であります。今のイギリスと致しましては、もう總て平和維持の爲の協調といふことにあるかと思ふのであります。或はジュネーヴの軍縮會議の如き、アメリカとイギリスと日本と三ヶ國寄つて相談したが、うまく話が出来なかつた。纏らなかつたといつても、それが直ぐ戦争になる譯でもなんでもない。その時には纏らなかつたが、また話を續ければ纏るかも知れない。今日は専ら恒久平和の維持に、最も力を盡して居ると思ひます。

是後に、イギリスと日本の關係について、お話をしておきたいと思ひますが、私が先年イギリスに居りました時に、日英同盟が出来たのであります。その當時私は、林公使後に大使になられた林董といふ人の下で働き、日英同盟條約の調印に相當盡力致しました積りであります。この日英同盟はその後世界大戦争の時においても十分なる効力を發揮致しました。日本が世界の戦争に参加して、世界の戦争を勝利に導くやうに働き、和平の克復に就きましても又最も効能のあつた條約であつたのであります。その後世界の形勢が變つたと共に、この日英同盟が消滅してしまつたのであります。この度イギリスに行つて見ますと、これは別に夫婦喧嘩をして別れたといふ風でもなんでもない。時勢の變遷と共に變つたのでありまして、別にイギリスが日本人に悪い感情を有つて居るといふ露骨でない。私は封鎖の處で、いろいろな人に會つたが、非常に好い感じを有つて居ります。これはいろいろな機會に、各種の人に會つて見たのでありますが、皆日本に對して、非常に好い感じを有つて居る。

これは今日世界の平和を維持する上において、最も有効なことであつて、日本としても、イギリスに對して何等恨むべき理由もない。又日本人もイギリスに對して、最も好い感情を有つて居るのであります。何うかこの關係を持續して、さうして日英の間の友交關係が、益々親密になるばかりでなく世界の平和に十分盡力をするやうにしたいといふことを、私は希望し、尙又日本なりイギリスなりは、それだけの力があると私は確信するのであります。

今や諸方にいろいろな問題が起り、或は國際聯盟の會議であるとか、或はその外の會合において、何時でも日本とイギリスと能く協同して、能く話をして行くことが出来るのであります。外の國も今日平和を亂すといふやうな無責任なことは考へて居るものはありませんけれども、茲に強國が寄つて世界の平和を維持するといふこの熱心なる希望を持ち、又その決心を有つてかゝれば、必ず成功するのであります。さうして日本はその責任を分擔する上において、相當な力があるものと私は信ずるのであります。その意味において、日英關係の幸にして良好なことを非常に喜び、尙これと親密にしたいといふことを希望して居ります。

今日この席において、極く大體の語でありますけれども、三十年前に見たイギリスと、今日の現勢に就て、私の感想を短く述べて見た次第であります。段々時勢も違くなりますからこの位のところでお許しを願ひます。

最近の英露支(元)

朝日民衆講座第九輯

最近の英露支 定價金二十錢

昭和三年六月廿五日印刷

昭和三年七月一日發行

複製を
許さず

編輯兼發行
兼印刷人 刀 福 館 正 雄

東京市麹町區有樂町三丁目一番地
株式會社朝日新聞社支店

印刷所 東京朝日新聞發行所

發行所 大東京朝日新聞社

317
829

朝 日 民 衆 講 座

第八輯	第七輯	第六輯	第五輯	第四輯	第三輯	第二輯	第一輯
陪審裁判	濟南事變の真相	ロシアより歸りて	第一回 普選の嚴正批判	普選の第一戰陣 我等斯く戦へり	普選に直面して 我等の主張	産兒制限の可否	普選問題の研究
郵税 三十錢	郵税 二十錢	郵税 二十錢	郵税 二十錢	郵税 二十錢	郵税 二十錢	郵税 二十錢	郵税 二十錢

東京 朝日新聞社 發行

終



朝日新聞社發行